作成例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」）

科目は必要に応じて追加

当該事業年度の末日を記載する

〇〇年度　貸借対照表

××年×月××日現在

特定非営利活動法人〇〇〇〇

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ　資産の部			
1．流動資産			
現金預金	×××		
未収金	×××		
・・・・・・・	×××		
流動資産合計		×××	
2．固定資産			
（1）　有形固定資産			
車両運搬具	×××		
什器備品	×××		
・・・・・・・	×××		
有形固定資産計	×××		
（2）　無形固定資産			
ソフトウェア	×××		
・・・・・・・	×××		
無形固定資産計	×××		
（3）　投資その他の資産			
敷金	×××		
〇〇特定資産	×××		
・・・・・・・	×××		
投資その他の資産計	×××		
固定資産合計		×××	
資産合計			×××
Ⅱ　負債の部			
1．流動負債			
未払金			
事務用品購入代	×××		
通信費	×××		
預り金			
源泉所得税預り金	×××		
受取会費（次年度分）	×××		
・・・・・・・	×××		
流動負債合計		×××	
2．固定負債			
長期借入金			
銀行借入金	×××		
理事借入金	×××		
・・・・・・・	×××		
固定負債合計		×××	
負債合計			×××
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		×××	
当期正味財産増減額		×××	
正味財産合計			×××
負債及び正味財産合計			×××

「負債及び正味財産合計」と金額が一致することを確認する

前事業年度貸借対照表の「正味財産合計」と金額が一致することを確認

活動計算書の「次期繰越正味財産額」と金額が一致することを確認する

「資産合計」と金額が一致することを確認する

（注）　重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「Ⅲ正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

Ⅰ　資産の部
　1．　流動負債
　　・・・・・・・
Ⅱ　負債の部
　　・・・・・・・
Ⅲ　正味財産の部
　1．　指定正味財産
　指定正味財産合計　　×××
　2．　一般正味財産
　一般正味財産合計　　〇〇〇

使途等が制約された寄附金等の残高を記載